

防災 だより

その82

今年の梅雨・台風に備える

問い合わせ 防災安全課 防災対策係
(市内線519-531)



平成15年7月19日豪雨災害発生時

猛烈な雨で溢れた御笠川と鷲田川の合流点では洪水による氾濫が発生しました。



現在の様子

最近の豪雨・台風による災害一覧

平成29年

- ・7月九州北部豪雨(福岡・大分)

平成30年

- ・7月西日本豪雨(福岡・広島・岡山)

令和元年

- ・8月前線による大雨(佐賀)
- ・9月房総半島台風15号(千葉)
- ・10月東日本台風19号(東北)

令和2年

- ・7月豪雨(熊本)

令和3年

- ・8月の大雨(佐賀)

令和4年

- ・8月の大雨(西日本・東日本)

令和5年

- ・7月の大雨(福岡・佐賀・長崎)

令和6年

- ・9月能登豪雨(石川)

令和7年

- ・8月前線による大雨(福岡・広島・岡山)

※上記9年間に福岡県に影響を及ぼした災害は、隣接県を含め8回ありました(赤字部分)。

※また、福岡県は、平成29年～令和3年の5年間に6回浸水被害がありました。

太宰府市は、これまでに豪雨や土砂災害による大きな被害を経験してきました。特に昭和48年に寒冷前線による豪雨が発生し、死者14名を含む甚大な被害が発生しました。この時、家屋の全壊・半壊は22棟、床上・床下浸水は897棟にのぼりました。また、平成15年7月19日の豪雨では、梅雨前線が活発化した影響で、7月18日の夜から翌未明にかけて1時間に99mmという「猛烈な雨」が降り、福岡県中央部の四王寺山から三郡山系にかけて記録的な集中豪雨が発生しました。この災害では、御笠川の氾濫や四王

皆さん、災害への対策はできていますか？

寺山での土砂災害により1名が犠牲となり、住居被害は全壊・半壊が42棟、床上・床下浸水は344棟という深刻な状況に至りました。
6月になると、梅雨の到来と同時に台風のシーズンにも入ります。近年では地球温暖化や環境変化の影響で異常気象が頻発しています。このような災害から身を守るために、あらかじめ準備や備えをしっかり整えておくことが重要です。

■市から「避難情報」が発令されたら…

市は、気象庁の防災気象情報に基づいて、警戒レベル3相当の「**高齢者等避難**」、警戒レベル4相当の「**避難指示**」を発令します。大雨で危険が高まった地域が地図で表示される気象庁の「キキクル」や御笠川の水位情報を確認するなど、避難情報に注意をして早めの避難を心がけましょう。

■避難情報が出た時の避難方法

避難をする時は、雨の状況や降り方、時間帯などを考慮して、その時の状況に応じた最も安全な方法で避難をしましょう。

①水平避難(立ち退き避難)

自宅の近くにある市の指定緊急避難場所や指定避難所に避難しましょう。もしくは安全な親戚・知人宅やホテル・旅館などに避難しましょう。

②垂直避難

警戒レベル4の避難指示までに避難ができなくて、警戒レベル5の緊急安全確保が発令された場合は、自宅の上の階の山側から離れた部屋に避難するか、近くの安全で高い場所にある建物などに避難しましょう。

■安全な避難行動

- 動きやすい服装で、なるべく両手は空けて避難しましょう。
- 徒歩で避難し、冠水していない道路や安全な経路で避難しましょう。
- ご近所に高齢者や乳幼児、体の不自由な方がいたら協力して一緒に避難しましょう。
- 道路冠水時は、蓋のない側溝やマンホールへの転落に注意し、傘や棒で側溝やマンホールを確認しながら避難しましょう。
- 車での避難は危険。冠水したアンダーパスや地下道は、通行しないようにしましょう。
- 雨の中、畑、川、橋や用水路などを見に行かない。また、近寄らないようにしましょう。

※土砂災害の危険のある地域の方は、「**避難指示**」の発表を待つことなく、豪雨や台風の接近などに応じた臨機応変の行動、特に早めの避難を心がけましょう。
 ※避難する際は、非常時持出品を忘れずに避難をしましょう。

コミュニティ無線でJアラートの試験放送をします

防災安全課 防災対策係 (☎内線531) ページID 38575

日時
6月3日(水) 午前11時
 ※予備日:7月1日(水)



V-net(災害情報等配信サービス)への登録を!

防災安全課 防災対策係 (☎内線531)
 ページID 2928

携帯電話・スマホが使えない人には、電話(自動音声方式)、FAX、メールで災害情報・避難情報を発信しています。登録を希望する人は、防災安全課に連絡してください。

- ※登録者に対して、6月2日(火)に試験配信を行います。
- ※市公式SNSやふくおか防災ナビ・まもるくんを登録済みの人はV-netへの登録は不要です。
- ※防災メール・まもるくんは3G回線サービスの終了に伴い、3月末でサービスが終了しています。

梅雨入りを前に必要な防災対策を行いましょう!

①防災気象情報を理解し適切に対応!

- 天気予報、防災情報についての入手方法を確認しておく
- 大雨の注意報、警報、危険警報、特別警報の意味を理解しておく
- 台風の進路・強さを確認し線状降水帯の予測などに注意する
- テレビ・ラジオ・防災アプリなどの情報源を準備しておく



②ハザードマップで危険な場所の確認!

- 自宅が、危険区域内にあるか確認しておく
- 自宅・勤務先から、避難所への安全な経路を確認しておく
- 避難経路や避難先を、家族全員が共有しておく
- 乳幼児や高齢者などは、避難のタイミングを知っておく



③自宅周辺の点検!

- 瓦、雨どい、外壁などが、壊れていないか確認しておく
- 家の周りに飛ばされそうなものがないか確認しておく
- 屋外の設置物が、固定されているか確認しておく
- 側溝、排水路にゴミが詰まっていたら清掃しておく



④家族相互の連絡方法を準備!

- 緊急時の連絡方法を決めておく(電話・メール・SNSなど)
- 災害用伝言ダイヤル(171)、災害用伝言板の使い方を確認しておく
- 学校や勤務先からの帰宅する経路を、家族で共有しておく

【新防災気象情報に基づく住民の行動】

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地の がけ崩れや土石流	高潮 海水面の上昇や波の 打ち上げによる浸水	警戒レベルごとの 住民がとるべき行動
5	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害 特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険、直ちに安全確保!
.....《警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難!》.....					
4	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害 危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
3	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は 早めに避難、避難の準備など
2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害 注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認(避難場所・避難 ルート・避難のタイミングなど)
1	早期注意情報				災害への心構えを高める

○新防災気象情報は、河川氾濫・大雨・土砂災害・高潮の4つに区分、太宰府市は「**大雨**」による低地の浸水や河川の氾濫、「**土砂災害**」による急傾斜地のがけ崩れや土石流の情報を該当します。
 ○気象庁から「**レベル3大雨警報**」「**レベル4土砂災害危険警報**」というように、警戒レベルの数字と名称で、情報気象情報が伝えられます。